

北の鉄道風景

Train number; 13D
2022.2.27 15:35 1/800, f/8, ISO 200,
f=200mm(cropping), Daylight/Sunny, completed
by computer generated 1/15 sec. panning effect.
3437×2298 Raw

第130回

AIとの仕事始め

二十一世紀になった、と意気込んでから早、四半世紀が経ってしまいました。が意気込んだだけの時代になったのでしょうか？テロ、戦争、天災、人災が引きも切らない新世紀のように思います。今年こそは、という願いを込めてのあけましておめでとうございます、ですがなかなかいい年にはなりません。

そんな中で、コンピューター領域の発展だけは目覚ましいものがありました。例えばこのページを作る場合、^{わらばんし}二十世紀なら、本文を藁半紙に書いて

は消す作業から始まります。それから四百字詰め原稿用紙に書き写すものの、文字が乱舞する藁半紙は自分で読むのも難儀です。四苦八苦して清書原稿ができ上がりますが、眺めているうちにまた直したくなるのです。

一方、写真の方はオート撮影もありましたが、基本はすべてマニュアルです。モータードライブなんて高価で手が出ませんから、列車を撮るなら基本



雪のプラットフォームの一発撮り。人々の動き、機関車の位置、列車が巻き起こす風に翻弄される雪たち。三者の息が合った瞬間を直感で捉えた無修整映像の迫力は、遠くAIの及ぶところではない。室蘭本線 1975



写真と文＝眞船直樹

一列車一枚撮影になります。さらに撮影結果がわかるまでに数日かかります。もう少し絞ればよかった、ピンがあまい…などということは常に起きました。カラーは現像所まで走って取りに行きましたし、モノクロは自家現像、焼付で徹夜でした。

それが今は天国。さらにAIなどというものが作業を手伝ってくれるようになりました。AIは何も突然できたわけではなく、原型はすでに様々な機器に組み込まれていましたが、情報の収集と蓄積と活用の恩恵をいつでも誰でも受けられるようにしたことでしょう。

ならば、AIを使ってこのページを作るのも新年の趣向としては面白いのではないかと、私とAIの共同作業で写真制作を試みました。原画は私が撮影、261系の輝きは本物です。ただ、AIに何本かの電柱の除去と背景の流しをお願いしました。しかし、結果は下手。結局私がマニュアルで六時間ほどかけて仕立て直しをすることになりました。二〇二五年初頭、この分野ではまだまだのAI君のようです。